



大洲市立肱東中学校 3年
は 奈 さん
笹 本 羽

☆第73回愛媛県中学校総合体育大会
陸上 女子100m、200m優勝

☆第59回四国中学校総合体育大会
陸上 女子100m、200m優勝

笹本さんは、7月24日(土)に愛媛県総合運動公園で開催された県中学校総合体育大会、陸上女子100m決勝で「12秒49」の好タイムで優勝しました。この記録は、2021年度第48回全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録「12秒53」を上回り、8月に茨城県で開催された全国大会への出場権を獲得しました。

また、8月7日(土)、8日(日)に開催された四国中学校総合体育大会でも陸上女子100mと200mで優勝しました。

「昨年までの順位が2位や3位と良くなかったので、優勝を目指したいと思って練習してきた結果、県大会で自己ベストの記録で優勝できました」と話す笹本さん。全国大会は、雰囲気や緊張感が全く異なる大会で、本来の走りができなかったそうですが、高校に進学しても陸上を続けて「インターハイ（高校総体）に出場して高い順位を目指したい」と次の目標を語っていました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.55 大洲高等学校肱川分校



みなさんこんにちは。
大洲高等学校肱川分校
2年の泉和也です。
肱川分校では、全員が
部活動に入って、放課後
1時間程度活動していま
す。

日々の練習を頑張っている成果が実り、今年は、卓球部とバドミントン部が全国大会へ出場することができました。

私はバドミントン部の主将をしていますが、練習に真剣に取り組むだけでなく、準備や片付けなど、みんなが気持ちよく練習できるように気をつけています。

これからも楽しく頑張っていきたいです。

一次回は大洲農業高等学校からです。



叙勲・表彰 おめでとうございます

高齢者叙勲

瑞宝小綬章



元県立宇和島南高等学校校長
上野 行徳 さん
(大洲市中村)

実りの秋



蔵川地区の棚田は、8月に黄金色の風景に変わり、収穫の季節を迎えました。
(8月22日(日)撮影)

歴史的資源活用推進事業の第2期工事が完了しました

8月11日(水)、城下町に残る町家や古民家などの歴史的資源を宿泊などができる施設として活用するために改修を進めていた肱南地区（比地町）の第2期工事が完了し、「NIPPONIA HOTEL大洲 城下町」としてオープンしました。今回改修された古民家には、テナントが入るスペースも整備され、地域の素材を生かした商品を扱う新たな店舗も開店しています。





ポコペン横丁で「ポコリンピック」

8月1日(日)、オリンピック期間にあわせて「ポコリンピック」が開催されました。

ポコペン横丁では、大人も子供も区別なく、誰でも参加できる種目を考えて、この日はおもちゃのヒコーキを飛ばした距離を競う大会を実施しました。屋根に乗ったら失格など、横丁らしいルールがある中で、3回の試技を行い、遠くまで飛ばした上位3人にポコペン横丁オリジナルの金・銀・銅メダルが贈呈されました。



NPBガールズトーナメント 2021

7月31日(土)から8月5日(木)まで、小学校に在籍する女子児童を対象とした全日本女子学童軟式野球大会「NPBガールズトーナメント2021」が県内6つの球場で開催されました。

都道府県の代表39チームが参加したこの大会の2回戦と3回戦の5試合が八幡浜・大洲地区運動公園野球場で行われ、同球場の初戦となった8月1日(日)には、二宮市長が始球式を行いました。



東京2020パラリンピックの聖火

8月15日(日)、東京2020パラリンピックの聖火ランタンが大洲市役所で展示されました。8月12日(木)に松山市と今治市、西予市の3カ所で採火式が行われた後、県内市町で展示されたもので、8月20日(金)には全国から集まった火が1つとなって「パラリンピック聖火」となりました。なお、広報8月号では、オズメッセ21で展示と掲載しましたが新型コロナウイルスの感染拡大により市役所に変更されました。



停滞する秋雨前線による大雨

8月12日(木)、この時期には異例の前線停滞により、市災害警戒本部を設置し自主避難を呼びかけ、13日(金)には市災害対策本部に移行し、市内全域(若宮地区、東大洲(東若宮)地区を除く)に警戒レベル3「土砂災害に関する高齢者等避難」を発令しました。市内では大きな被害に至りませんでしたが、九州、中国地方を中心に線状降水帯が形成され、記録的な大雨による災害が発生しました。

愛媛県大洲庁舎が完成

8月16日(月)、老朽化に伴い建て替え工事を行っていた愛媛県大洲庁舎が完成、仮庁舎からの移転作業を終えて新しい庁舎（田口甲425-1）での業務がスタートしました。新庁舎の1階は車庫・駐車スペースで、2階に大洲土木事務所、3階に肱川流域林業振興課と地域農業育成室大洲農業指導班の執務室があります。

壁や廊下には、愛媛県産のCLT（直交集成板）や大洲産スギ材など、地元の木材が多く使われています。



日本スポーツマスターズ出場報告

8月17日(火)、日本スポーツマスターズゴルフ選手選考会で優勝し、9月の日本スポーツマスターズ2021岡山大会「55歳以上男子ゴルフ競技」の愛媛県代表になった二宮孝弘^{たかひろ}さんが、二宮市長を表敬訪問されました。

二宮孝弘さんは、「愛媛県代表として恥ずかしくないように頑張りたい。マナーを守って気持ちよくプレーして優秀な成績を収めたい」と抱負を話しました。



「大洲コロッケ」オンライン料理教室

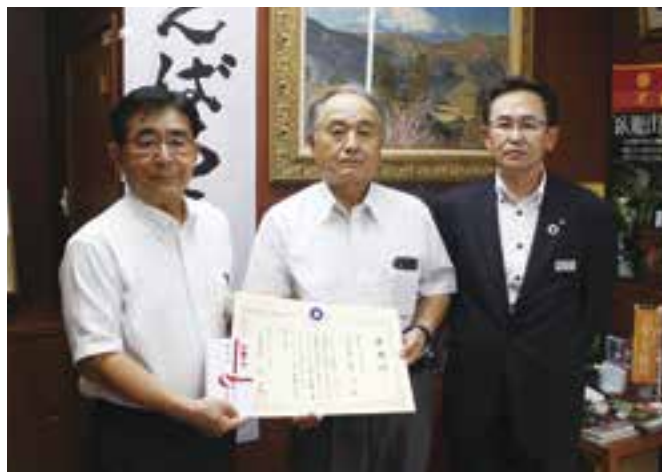
8月23日(月)、いもたき文化を残していきたいとの想いを込めて開発された「大洲コロッケ」の作り方が自宅に居ながら学べるオンライン料理教室を開催しました。参加者は、あらかじめ届いている大洲コロッケ用のレトルト^{ゆづいち}いもたきを使って、開発者のもつ鍋居酒屋熱炎の藤田祐一^{ゆういち}さんと商品開発アドバイザーの米田佳代子^{かよこ}さんから料理のコツをリアルタイムで学び、里芋畑や市内観光地をオンラインで巡りました。



新型コロナウイルス感染症対策へ寄附

8月25日(水)、肱川ひめぎん会代表幹事の菊地清^{きよし}さんから新型コロナウイルス感染症対策への寄附金を受け取り、二宮市長が感謝状を贈呈しました。

肱川ひめぎん会は、愛媛銀行利用者のみなさんで構成する団体で、コロナ禍で昨年からの活動ができていないことから、その活動費用の一部を感染症対策に活用してほしいと肱川流域の西予市、内子町、大洲市の3市町に寄附をいただいたものです。



豊予交流

愛媛・大分両県の自治体同士で、互いに地域の魅力を紹介する取組を行っています。豊予海峡を挟んだ海の向こう側に目を向けてみましょう。

これが由布市に伝わる庄内神楽です！

庄内子供神楽座について



昭和51年、伝統芸能の継承と青少年の健全育成を目的に結成されました。庄内町の小・中学生で構成され、日々、練習に励んでいます。各地域のお祭り、イベントのアトラクション、福祉施設の慰問等に年間60回程度出演しています。

これまでに、大分県神楽大会や、島根県で開催されたこども神楽フェスティバル等にも出演し、東京都で開催された全国こども民族芸能祭には、九州・沖縄ブロック代表として出演したこともあります。

庄内神楽とは



安永7年（1778年）に世襲神職による神楽の奉納が行われたと言われている、大分県由布市に古くから伝わる神楽を指します。今のような形として始められたのは明治時代の初期のことです。当時の政府により神職が神楽を舞うことが禁じられ、氏子等が引き継いで舞うようになり、その時に伝承されたものと言われています。

主な活動内容

5～10月 庄内神楽定期公演

5～10月の第3土曜日の午後6時から庄内の神楽座が持ちまわりで月1回の定期公演を行っています。



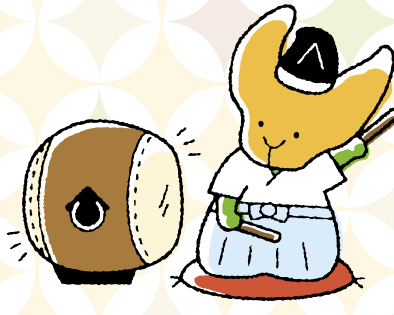
11月3日 庄内神楽祭り

毎年11月3日（文化の日）に、庄内町総合運動公園で庄内神楽祭りを開催しています。庄内神楽を継承する町内の神楽座のほかに、地元の保育園児や高校生などの多くの神楽団体が一堂に会し、一日中神楽三昧で過ごすことができます。



1月2日 庄内神楽新春初舞

1月2日に新年最初の神楽公演を行います。この日は、庄内神楽の代表的な演目を奉納します。



【照り焼き風 ^{なし} 梨の肉巻き】

梨	1個 (200g)	
薄切り豚バラ	5枚 (150g)	
塩・こしょう	少々	
薄力粉	適宜	
油	小さじ 1	
A	濃口醤油	大さじ 1
	本みりん	大さじ 1
	おろしにんにく	小さじ 1
	おろし生姜	小さじ 1
付け合わせ	適宜	

作り方

- ① 梨は皮をむいて、くし型に10等分する。豚バラ肉は約10cmの長さに切る。
- ② 豚肉に塩・こしょうをふり、片面のみ薄力粉を茶こしでふりかける。
- ③ 梨表面の水分をキッチンペーパーで軽くふき取り、②を薄力粉がふってある方を内側にして、なるべく重ならないように巻いていく。
- ④ フライパンに油を熱し、③の巻き終わりを下にして並べて焼く。全体に良い色に焼けたら、キッチンペーパーで余分な油を吸い取ってから、Aの調味料をよく混ぜて入れ、絡める。

梨の栄養

梨の成分は88%が水分です。ビタミン類はあまり含まれていませんがカリウムが多く、体からナトリウムを出す働きがあるため、高血圧症の人に良いとされています。

また、カリウムは汗と共に流出しがちなので、残暑の季節に汗をかいた時などは水分と一緒に補給できる良い果物です。



【レシピ提供：大洲市保健センター】

私たちにもできる

SDGs



世界人口の1割、約8億人がその日に食べる物がなく、明日以降も食べ物を得られるか分からない状態にあります。この目標は、2030年までに、飢えをなくし、貧しい人も、幼い子ども、誰もが一年中安全で栄養のある食料を十分に手に入れられるようにしようとするものです。

飢餓の原因の一つには自然災害があり、農作物や農地が被害に遭うと食料の供給にも大きな影響を与えます。地球環境を守りながら、気候変動や干ばつ、洪水などの災害にも強く、持続可能な食糧生産の仕組みをつくっていくことが必要です。

また、日本の食料自給率は38%で食料の多くを輸入に頼っています。一方で、日本では、毎日1人当たり茶碗約1杯分（年間600万トン）の食べ物を捨てています。この量は世界の食料援助量の1.4倍に相当します。食べられるのに捨てられている「食品ロス」も飢餓の原因につながります。

生鮮品や残り物を食べきれない時に早めに冷凍するなど、食べ物を無駄にしないようにしましょう。

文化財

木造薬師如来坐像 1 軀
大洲市指定有形文化財（彫刻）
圓滿寺所有



本坐像は、久米地区に所在する圓滿寺で、本尊の木造薬師如来坐像（市指定有形文化財）の脇仏として祀られている仏像です。

像高42.4cmと小ぶりですが、頭部の螺髪（巻貝の殻のようにぐるぐると巻いた髪型）は、大きめに作られ、正面の髪際は下を向き大きくうねった形をしています。

また、屈曲を強く刻んだ着衣の衣文は、南北朝時代後半から室町時代初頭にかけての作風を顕著に表わしています。

平安時代後半（12世紀前半頃）の作品である本尊と比べると時代は新しいものですが、南北朝から室町初期の典型例とされることから貴重な仏像と言えます。

（昭和40年 1 月 1 日指定）